

◆◆◆ 平成26年 第3回定例会議案等処理結果 ◆◆◆

第 号	件 名	議決結果
認定第 1 号	平成25年度糸満市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 2 号	平成25年度糸満市人材育成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第 3 号	平成25年度糸満市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第 4 号	平成25年度糸満市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第 5 号	平成25年度糸満市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第 6 号	平成25年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第 7 号	平成25年度糸満市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第 8 号	平成25年度糸満市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
認定第 9 号	平成25年度糸満市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
議案第56号	平成25年度糸満市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第57号	平成26年度糸満市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第58号	平成26年度糸満市人材育成事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第59号	平成26年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第60号	平成26年度糸満市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第61号	平成26年度糸満市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第62号	平成26年度糸満市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第63号	平成26年度糸満市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第64号	糸満市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
議案第65号	糸満市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	〃

第 号	件 名	議決結果
議案第66号	糸満市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第67号	新糸満市企業誘致条例の一部を改正する条例について	〃
議案第68号	糸満市海のふるさと街づくり施設条例の一部を改正する条例について	〃
議案第69号	沖縄県都市交通災害共済組合の解散について	〃
議案第70号	専決処分の承認について（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定）	承 認
	「給与制度の総合的見直し」に係る要請書	採 択
	各種委員会・審議会等における女性委員並びに糸満市における女性管理職の登用促進について（要請）	〃
	地元産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）	〃
	県産品の優先使用について（要請）	〃
	公共工事発注に際しての事業用自動車（緑ナンバー）使用に関する陳情	〃
	船員税制（住民税）の減免に関する申し入れについて	継続審査
	住民の安全・安心を支える「国の出先機関の原則廃止」に関する要請書	〃
	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	〃
	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	〃
	母子生活支援施設建設のための土地確保の支援願い（要請）	〃
	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める要請書	〃
	一般質問時の市当局の答弁の改善について（陳情）	〃
	早期の議会報告会開催について	〃

いとまん 市議会だより

第92号

平成26年12月5日発行

＝ 平成26年 第3回（9月）定例会 ＝



平成26年10月6日（月）午後4時（出生届受理）に、住民基本台帳の人口が6万人を超えました。記念すべき6万人目の市民となったのは大城司さん、涼子さんご夫婦の長男、丞士（じょうじ）くんです。糸満市役所で10月29日（水）に認定証交付式が行われ、認定証と記念品が贈られました。

第3回
定例会



今回の補正予算（法人保育園施設増改築事業）により、30名の定員増となる予定の「しおひら保育園」

平成26年第3回(9月)定例会

第3回定例会は、9月3日から9月26日までの24日間の日程で開催されました。

同定例会には、市長から平成25年度一般会計歳入歳出決算などの認定9件、平成26年度糸満市一般会計補正予算（第2号）などの議案15件及び報告4件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、ご参照ください。

平成26年度一般会計
補正予算（第2号）

本案は、歳入歳出予算にそれぞれ4億1116万円を追
 加し、歳入歳出予算の総額を
 それぞれ228億9187万
 円とするものです。主な補正
 の内容は次のとおりです。

- ・法人保育園施設増改築事業

・小規模農家支援事業

1億7160万円

・観光農園推進対策費

731万円

・衛星電話購入設置補助事業
5409万円

糸満市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について

本案は、子ども・子育て支援法の制定により、同法第34条第2項及び第46条第2項の規定に基づき、特定教育・保育施設の運営に関する基準及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める必要があることから、条例を制定するための議案です。

糸満市地域型保育事業
の設備及び運営に関する
基準を定める条例の制
定について

本案は、「子ども・子育て支
援法及び就学前の子どもに関
する教育、保育等の総合的な
提供の推進に関する法律の一
部を改正する法律の施行に伴
う関係法律の整備等に関する
法律」における改正後の児童
福祉法第34条の16第1項の規
定に基づき、家庭的保育事業
等（地域型保育事業）の設備
及び運営に関する基準を定め
る必要があることから、条例

専決処分承認について（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定）

本案は、本市が当事者である交通事故により与えた損害について、早急に賠償額を決定し和解する必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行ったので、同条第3項の規定により議会に報告し、承認を求められた議案です。

選挙管理委員会委員及び 同補充員の選挙について

9月30日をもって任期が満了した選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が9月12日に行われました。結果は次のとおりです。

委員

○奥村幸巳氏

○慶留間清榮氏

○宮城行雄氏

○山川國正氏

補充員

○前原晃氏

○德里勇夫氏

○上原隆氏

○大保繁氏

を制定するための議案です。

市政をたず

一般質問

平成26年第3回定例会では、9月17日、18日、19日、22日の4日間にわたり、16人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧いただけます。

学校教育環境について



菊地 君子 議員

①教室の室温や湿度の調査結果。②学校教室の適温。③小中学校の特別教室及び普通教室へのクーラー設置について伺う。

教育委員会総務部長 ①市内

の小学校3校、中学校1校において7月から9月まで調査した結果、小学校の平均温度が31・75℃で、平均湿度が65・87%、中学校の平均温度が31・95℃、平均湿度が64・3%であった。②学校環境衛生基準は温度で30℃以下、湿度で80%以下が望ましいとなつてゐる。調査結果と比較して、温度が1・8℃高く、湿度は14・37%低いということがわかつた。その結果から湿度については、問題ないと考ええる。温度については1・8℃高い状況だが、教室内では扇風機を作動し、換気、通

風に努めているので体感温度は低くなるものと認識している。③特別教室は昨年度より一括交付金を活用し、小学校5校、中学校4校の23教室にクーラーを設置しており、残りの特別教室にも順次設置していく。普通教室については、引き続き扇風機を活用していきたい。

菊地 学校環境衛生基準の中で、児童生徒に生理的、心理的に負担をかけない最も学習に望ましい条件は、夏期で25℃から28℃程度となつてい

る。しかし、31℃を超える暑い教室で子供たちが授業を受けているのが実態だ。子供たちに適温で授業を受けさせるために普通教室にもクーラーを設置していただきたい。



高嶺小学校理科室のクーラー
(平成26年度設置)

字大里の高嶺間切番所跡の整備について



西平 賀雄 議員

①遺跡の保存と保育所跡の整備はどうなっているか。②整備は何年度を予定しているか。③整備計画の内容はどうなっているか伺う。

教育長 ①平成25年度に実施

した試掘調査では、最下層で番所跡と思われる近世の陶磁器を含む遺物包含層や石組みなどの遺構が検出された。試掘調査は遺物包含層の有無確認が目的だったので、その後埋め戻して現状保存を行った。

建設部長 ①保育所跡の整備

については、平成25年度に発掘調査、その後、実施調査を行った。現在、隣地境界とブロック塀との公図上のずれが生じており、地権者と調整中である。また、9月11日に高嶺地域の各自治会役員に整備内容を説明し、おおむね了解



新たな名所となるよう期待がかかる

を得ている。②平成27年度に向けて関係部局と調整中である。③高嶺間切番所跡地として地域を散策する観光資源を創出し、観光振興へつなげる整備を計画している。整備面積は970㎡で、番所があった当時からあったと思われる石組みが残っており、それらとあわせて周辺を石積みで囲い、番所の写真や発掘調査で出土した番所の瓦の写真等を張りつけた園名板を設置する。また、中央には芝生広場を整備する予定である。

西平 整備の中でゲートボール場も可能となるか。

建設部長 大きな広場になっているので、ゲートボールも可能と思われる。



新垣 安彦 議員

西崎陸上競技場の改修について

子供たちのあらゆるスポーツの競技人口向上を図る上で西崎陸上競技場の整備は必要不可欠である。そこで伺いたい。①芝人（しばんちゅ）養成事業の導入について。②県内先進地の状況について。

建設部長 ①西崎陸上競技場のフィールド内の芝は、施工

完成から長い年月が経過し、雑草の混入や走路部から約5cm程度盛り上がりしていることから、走路部の整備に伴う検定において、検定員から次の3種公認の検定までに適正な管理をするよう指摘されており、現在の芝生の状態では芝人養成事業の導入は厳しい。現在、運動公園・体育施設強化事業で芝生の盛り上がり部分を削り、サッカーにも適した芝生に張りかえ、その後の管理方法も含め検討して



12月に改修工事予定の陸上競技場の芝部分

いる。②3年間の事業期間で、6市町村が芝人の実施研修地として管理を行うグラウンドモデル管理事業、15市町村がグラウンド巡回支援事業を導入している。

新垣 運動公園・体育施設強化事業で芝生を張りかえるということだが、事業実施はいくつか。

建設部長 12月ごろから改修工事を予定している。

新垣 サッカーは子供たちには大変人気がある。ぜひ12月には工事を進めて、フィールド内の芝を張りかえていただき、サッカーをはじめ、いろいろなスポーツができる環境をつくっていただきたい。



大田 守 議員

防潮林の保護について

米須地区にある吹き上げ砂丘は、自然が長い年月をかけて造成した県内有数の連続した砂丘で、海浜性の植物や多くの樹木が群生しており、台風時には防潮林として役割を果たし、本市の農業推進にも大きな成果を与えている。しかし、近年、波の浸食等により砂の流出がひどく、場所によっては砂丘が大きく削り取られている。若手の農業従事者らは将来、この砂丘が消滅し防潮林としての機能がなくなれば、塩害など大きな被害が起これるのではないかと懸念している。そこで米須霊域（魂魄の塔）の海岸から大度浜に至る吹き上げ砂丘の状況について、市当局の見解を伺う。

経済観光部長 現地を調査したところ、一部の防潮林がなく、砂浜が飛散した状況で



早急な対策が望まれる

あった。農作物への塩害防備のため、沖縄県南部林業事務所に植林を申し入れする。

大田 この砂丘がなくなると、本市は大切な自然の宝を1つ失うことになる。市独自で調査を行う必要性はないか。

経済観光部長 自然海浜はとも重要だと認識している。防潮林の範囲内で守れるかどうか県と調整していきたい。

大田 市内の防潮林は沖縄戦で壊滅的な被害を受け、捕虜収容所から戻ってきた方々は農作業をするために、まず防潮林の再生から始めた。それが今の防潮林である。こういったことも踏まえ、しっかりと調査し、保護に向けて頑張ってください。



新垣 新 議員

期日前投票所の増設について

年々投票率が低下しているが、有権者のニーズに対応するために期日前投票所を2カ所増設することはどうか。

選挙管理委員長

本市では市役所1カ所の期日前投票所となつていて、来庁者が多いときには混雑する場合もあり、一部の市民から商業用地で買い物ついでに投票できるように期日前投票所の増設について要望もあつた。しかしながら、長期間にわたる場所の確保や事務従事者の配置、二重投票を防止するため住基ネットワークを活用した投票システムの設備に要する経費、情報漏洩セキュリティ等が課題となつている。県内では大型商業施設で複数の期日前投票所を設けているのは那覇市だけだが、投票日に投票所に行けない選挙人の利便

性の観点からも実施市町村の情報収集していく。今後とも有権者が投票しやすい環境を整備し、投票率の向上に努める。

新垣

市民から期日前投票所は人が多く混雑していて嫌だという声や、期日前投票のため市役所の駐車場に車がとめられず、住民サービスに支障を来しているとの苦情を受けた。その改善策として、農村環境改善センターと西崎総合体育館アリーナホールの2カ所に期日前投票所を増設できないか。投票率を上げるため、さらに住民サービスの向上を図るためにも、ぜひ増設を検討していただきたい。



糸満市役所内に設置された期日前投票所



伊敷 幸昌 議員

字名城と字小波蔵間の冠水農道について

当該農道は、降雨のたびに雨水が集中することにより冠水し、3、4日は通行不能な状態が続いている。また、生活雑排水が滞留して環境衛生上、最悪な状態が続いている。

3月定例会で早い時期に営農が再開できるように対応策を検討するとの答弁があつた。①どのような対策を検討しているか。②いつまでに整備するのか。

経済観光部長

①冠水農道を復旧することで、区長及び周辺地権者と協議を行つている。②整備時期については、冠水農道への盛土を確保した後での復旧となるので、平成26年12月ごろを予定している。

伊敷 この農道の整備が完成しても、現在、水がたまっている低地帯の問題は解消しない。



冠水した状態の当該農道(写真左側)と隣接する農地

い。そこで公共工事などで残土が出た場合に、残土の埋土など、市の協力を仰がなければならぬ状況にあるが、いい提案はないか。

経済観光部長

公共工事は道路が主であり、畑に適している土が出るかというのは疑問がある。もし条件がそろえば地域と話し合つて、対応できるかどうか、可能な限り協力していきたい。

建設部長

資源の有効活用から見て、同調するところがある。しかし、農地に使えるような良質の土というのは、今、思い当たらない。もし、そういうものがあれば有効的に活用することについて、検討したい。



山城 勉 議員

糸満観光農園事業及び観光農園(株)の管理運営について

①平成16年度決算に係る圧縮記帳の会計処理は法に違反しているか見解を伺う。②観光農園(株)の平成25年度(第14期)決算報告書について、赤字である観光農園が法人税等396万5000円余も支払っているが、なぜか。③平成25年度第三セクター等点検評価委員会」の報告書の現状・課題について。「平成24年度委員会」の指摘事項である「事業推進体制の構築」、「事業計画の策定」については、何一つ有効な手だてが講じられてきていない。また、「プロジェクトチーム」の活動についても、何の実効性も発揮されておらず、その取組は全く為されていない」さらに、「同観光農園(株)」の経営が窮境に陥った責任は、言うまでもな



糸満観光農園株式会社
第14期決算報告書

く、経営を任されている現経営陣（現市長）にある」しかも「残念ながら結果として放漫経営であった事実をめぐう余地はない」と厳しく指摘されている。現経営陣は、その指摘を重く受けとらなければならぬと思うが、市長はどのように認識しているか。

経済観光部長 ①法に抵触してはいない。②本市が未払い電気料の債権放棄をしたことにより、観光農園株式会社が特別利益を計上し、2230万円の当期純利益を計上したため、法人税等の負担が増額となったものと思われる。③会社の経営改善を図れなかったことについては残念に思う。



上原 正次 議員

倒木対策について

①市道での倒木による事故が懸念される中、定期的な点検などを行っているか。②台風など災害後の道路、歩道上の倒木の撤去はどのように行っているか。③公園、学校での倒木対策はどうなっているか。

教育長 ③各学校のPTA作業で校内の樹木剪定などを行う際に管理点検等を行っている。また、台風後の倒木撤去や枝と電線との接触など、危険を伴う作業については、学校からの依頼で教育委員会が専門の業者に委託している。

建設部長 ①定期的に実施していないが、職員が巡回しているほか、住民等からの通報により職員が対処している。②台風等の通過後、職員の巡回や住民等からの通報により職員が撤去している。被害が多いときは職員と市内業者への委託で撤去作業をしている。



安心して通行できるよう対策を望む

子ども・子育て支援新制度について



玉村 清 議員

①家庭的保育（保育ママ）とはどのような事業か。②小規模保育とはどのような事業か。③事業所内保育とはどのような事業か。④居宅訪問型保育とはどのような事業か。

福祉部長 ①定員が5人の家庭的な雰囲気のもとで保育を行う事業である。②定員が6人から19人までと家庭的保育事業よりは少し規模が大きくなるが、家庭的保育に近い雰囲気のもとで保育を行う事業である。③会社の事業所の保育施設などで従業員の子供と地域の子供と一緒に保育する事業で、19人未満の小規模保育に近いものと20人以上の保育所に近いものがある。④子供が障害や疾患などで個別のケアが必要な場合、その程度を勘案して集団保育が著しく困難であると認められる場合



平成26年4月より小規模保育事業を実施している「にじのはし保育園」

などに、保護者の自宅に訪問して一対一の保育を行う事業である。

玉村 現在、保育士不足で悩んでいると思うが、そういう施設がふえると、なお一層保育士の不足が出ると思う。保育士の確保についてどのように考えているか。

福祉部長 県と一緒に国の方策を見ながら、保育士の確保に向けて取り組んでいきたい。保育士がいないと資質の向上が望めない、資質の向上も含めた対策を検討したい。

玉村 ぜひ保育士の確保、小規模保育所の充実を図り、待機児童ゼロの宣言ができるよう努力してほしい。



砂川 金次郎 議員

観光農園の新たな事業展開について

①糸満観光農園の新たな事業展開の進捗状況。②うちなーファームとパームロイヤルとの基本協定締結時期をどう見通しているか。

市長 ①6月27日に糸満観光農園株式会社の株主総会において解散の決議が行われたことから、指定管理者の指定を解除するとともに、優先候補者の共同事業体で新たに設立した、株式会社うちなーファームへ施設の管理委託を行い、パークゴルフ場の運営と施設管理を継続している。現在、うちなーファームより、糸満市観光農園の一部施設について行政財産の使用許可申請があるので、糸満市公有財産管理運用委員会に諮っていただきたいと考えている。②双方の事業区域及び事業範囲について調整を進めているところ



新たな事業展開に期待がかかる

であり、今月中の基本合意書の締結を見込んでいる。
砂川 糸満市民のために、大いに活用できるように1日も早く、そのときを望んでいる。プレゼンテーションの内容どおり事業計画は進められていると考えていいか。
経済観光部長 提案どおりの計画で進めている。

砂川 ぜひ成功するように、市長を先頭に取り組みを進めていってほしい。ワインの老舗、うちなーファーム、いわゆるまるき葡萄酒のネームバリュー、販売網を最大限に活用することに全てがかかっていると思う。ぜひこの事業の新たな展開を一日千秋の思いで待ち望んでいる。



国吉 武光 議員

南浜公園の維持管理について

南浜公園のベンチやテーブル等の周りに、コップやトレイ等のごみが散乱しており、大変見苦しく、利用者には不快感を与える。茂みの中にはペットボトルの容器が散乱しているところもあつた。

①南浜公園の管理費は幾らか。②管理費や人手が不足しているようであれば予算を増額し、公園の管理を充実してもらいたいが、予算増額を予定しているか。

建設部長 ①南浜公園の管理については、現在、供用開始している45カ所の公園を糸満市公園体育施設管理共同企業体に指定管理者として



マナーを守り利用しましょう

管理委託をしている。受託者の人件費、光熱水費及び清掃費等がトータルになっているので、南浜公園のみの管理費の算出は困難である。②毎日、巡回点検及び清掃を行っている。③現時点で予算増額は予定していないが、管理区域が広いため、全ての区域を巡回点検及び清掃するには時間を要している場合もある。今後、市民が安全で快適な公園利用ができるように、指定管理者と話し合い調整していきたいと考えている。



玉城 安男 議員

道路行政について

①糸満ロータリー周辺のラウンドアバウト事業の進捗状況は。②糸満ロータリー方面から糸満自動車学校までの市道C3号線(旧県道糸満与那原線)の道路整備計画等はないか。

建設部長 ①国、県、市及び当該関係者で構成する糸満ラウンドアバウト社会実験実施検討協議会を立ち上げ、県において本年10月ごろに社会実験の設計業務を発注し、その後、社会実験の工事、調査・解析を行い、本格的な整備を行う予定である。②現在、具体的な整備計画はないが、糸満市では現在の国道331号沿道地区とジョーグワ地区の2地区の景観形成重点地区に加え、糸満市中央市場及び周辺地域を新たな重点地区の指定に向けて、景観重要公共施設に指定された市道C3号



市道C11号線（左折）と市道C3号線（直進）

線を糸満市のシンボル道路として、一体的な整備が図れないかを検討していきたいと考えている。

玉城 公設市場の建てかえ計画があるとのことだが、市道C3号線を拡張することによって公設市場とのかかわりが十分に生かせると思う。また、公設市場の西側に面する市道C11号線の拡張・延長ができれば、県道糸満与那原線、市道C3号線を結ぶことによって、公設市場内の道の回転がうまく進むものと思う。公設市場建てかえを計画するときは、C11号線の整備もぜひ考えていただきたい。



浦崎 暁 議員

名護市辺野古への新 基地建設問題について

「オスプレイの配備撤回、普天間基地の閉鎖、撤去、県内移設の断念を求める建白書」に対する市長の姿勢について伺う。

市長 建白書は、平成25年1月28日に県内41市町村全

ての首長と議会議長がオスプレイの配備撤回と普天間基地の閉鎖、撤去を求めて安倍首相に提出したものである。建白書のとおり、普天間基地の県内移設を断念する等の内容については理想的ではあるが、総合的に沖縄県の負担軽減につながるものであれば、やむを得ない部分もあるものと考えている。



名護市辺野古キャンプ・シュワブのゲート前

浦崎 今度の知事選においては経済界も2つに割れ、沖縄の新しい自立した経済をつくっていかうという動きが今強まっている。また、1956年のプライス勧告において、米軍の不当な要求に対し、県民が保守や革新さまざまな立場を超えて一致団結し、県民の利益のために立ち上がったということが、大きな教訓になっていると思う。市長もこの建白書の実現のために、その時は確固たる確信において署名したと思う。基地の県内移設やむなし、ということであれば、私からすれば残念である。



當銘 真栄 議員

北波平武富公園の安全対策について

①台風の大雨により南側斜面に一部土砂崩れが起こっているが、その対応はされているか。②雨天時にグラウンド中央付近に大きな水たまりができ、利用者から苦情がある。対策が必要だと思うがどうか。③グラウンド南側の用地未整備部分の今後の対応はどうなっているか。

建設部長 ①今年7月の台風8号の大雨により、のり面の一部が崩壊し、防護柵が決壊し危険な状況である。今回の9月補正で、のり面整形等の予算を計上している。②同公園は平成15年度に供用開始し、整備から十数年経過しているため、周囲が雑草等で盛り上がり上がっていることや、中央部のくぼみなどによって長時間水がたまっている状況があるため、今後調査を行い、対



事故が起こる前に！

策を検討したい。③当該部分については、私有地のため公園として整備する計画はない。

當銘 南側の未整備部分は小山になっていて、子供たちが登って大変危険な場所になっているが、市はどう認識しているか。

建設部長 現在は公園と私有地の間に柵を設置している。今後、注意喚起の立て看板を設置して、子供たちが立ち入らないように対策を講じた。

當銘 万が一事故が起こった場合、責任はどこにあるかという点にもなる。また、土地所有者に対しても対応を促してほしい。



金城 悟 議員

キャンプ誘致について

9月3日付の新聞記事に「キャンプ誘致しサッカーで振興、八重瀬町で意見交換」とある。①県文化観光スポーツ部の班長が過去5年間のキャンプ誘致に関する取り組みを説明したと書かれているが、どのような内容か。②キャンプ地を代表し八重瀬町の担当者が受け入れた事例を説明したとのことだが、その内容は。

市長 ①平成21年度から24年度までは国内外を問わず誘致活動を行い、平成25年度はJリーグを中心に誘致を行っており、現在8チームほどから問い合わせがあること。平成27年度以降は対戦相手を組みむ二次キャンプまで誘致し、キャンプ地定着化と集積化につなげたいとの説明があった。

経済観光部長

②県の芝人養

成事業でグラウンド整備を行い、施設の改善ができたこと、キャンプを見に来る来場者が多く周辺地域に交通混雑があったこと、今後、特産品販売ができないか検討しているなどの説明があった。

金城 本市は空港から近く交通の便もよい。Jリーグのチームから糸満市に打診があるという情報もある。経済効果ははかり知れないと思うが、プロサッカーチームのキャンプを誘致する考えはな

市長 本市はアマチュアスポーツのメッカとして施設整備に取り組んでいるところである。プロのチームの誘致について将来的には検討しているが、現時点においては考えていない。



スポーツイベントやキャンプについて報じる新聞記事



比嘉 謙 議員

糸満観光農園株式会社について

①補助金収入を特別利益に計上したことについて、税負担から考えて圧縮記帳を行うことが一般的だと思うが、なぜこのような会計処理を行ったのか。②平成19年度に資金ショートを免れることができたのはどのような対応をしたからか。③平成20年度の貸借対照表の純資産は6000万円以上あるのに、なぜ実質的な債務超過なのか。以上、答弁を求める。

経済観光部長 ①平成17年度、18年度の市議会においても「圧縮記帳をせず特別利益に計上してもいいと税務署及び税理士から確認している」と答弁しているが、今回の調査でも理由は確認できていない。②補助金で建設したレストラン施設に根抵当権を設定し、これを担保に短期資金

1500万円を借り入れることにより資金ショートを免れている。③平成20年度の貸借対照表では6600万の純資産があるが、平成16年度に補助金収入7200万円を特別利益に計上して資本を回復したものである。仮に圧縮記帳を行った場合は実質500万円の債務超過となっている。

比嘉 現在、糸満観光農園については特別委員会審査を行っている。その中で事実関係を明らかにして市民の皆様



糸満観光農園

議会を傍聴してみませんか、どなたでも傍聴できます

12月定例会の日程は、日程が決まり次第、FMたまん(76.3MHz)で放送いたします。傍聴を希望する方は、本会議当日、市役所4階本会議場までお越しください。傍聴するにあたっては、議事に支障を来しますので私語を慎み、携帯電話のマナーを守りましょう。本会議中は庁舎1階ロビーのテレビでも放映しています。



